

弘済小中分校新聞

一学期を振り返って

副校長 松藤 康之

大阪市立弘済小中学校分校として14年目の新年度を迎えました。令和6年度も無事に入学式を行うことができました。今年も「観桜会」などの学園行事に分校教員も参加することができ、子どもたちの元気な様子を見ることができました。また、普段の日常生活の中でも「鉄人記録会」や「放課後の作業」、「クラブ活動」、「寮食」などに参加することで、教室以外の場所でも子どもたちが一生懸命に取り組む姿を見ることができ、日々成長していく様子をひしひしと感じることができました。このように子どもたちが安心した学校生活を送ることができ、学校の運営をスムーズに進めることができますのも、学園の先生方はじめ保護者の皆さま方のご努力やご協力のおかげであると感謝しております。

弘済小中学校分校では、学校教育目標を「学力の向上と自立に必要な力の育成」とし、目標達成に向けて様々な取り組みを行っております。「学力の向上」においては、教員一人ひとりが、子どもの学力向上をめざした「わかる授業」を常に意識し、実践しております。そのため、各授業TT（チームティーチング）体制をとるとともに、英語、数学などは習熟度別や個別の授業など、個に応じたきめ細やかな学習を行っています。また、ICT教育にも力をいれ、視覚的、聴覚的にも分かりやすい授業になるようにICT支援員の協力のもと取り組んでおります。また、読解力向上や情報処理能力の向上を目的とし、小中学生向けの新聞を複数定期



大阪市立
弘済小・中学校
分校

広報・連携
プロジェクト

1学期末号



今年の夏も
立派な夏野菜が
たくさん採れました。



購入し、様々な場面での活用に取り組んでいるところです。さらに、週末課題についても継続的におこない、基礎学力の定着を図っています。「自立に必要な力の育成」においては、挨拶の徹底から始まる授業規律の安定やポジティブ行動支援による生活指導体制の確立を図り、安心・安全な教育環境の充実に努めております。また、子どもたちの将来を見据えたキャリア教育については、今年度も実施している「夢授業」において、将来自立して生きていく力の育成を目的として、プロのラグビー選手2名と元プロバレーボール選手1名を招き、自らの体験を踏まえた貴重なお話を伺うことができました。また、「将来につながる力の育成」として、「アサーション」「アングラー・マネジメント」「ピア・サポート」「アーツ・セラピー」などのトレーニングにも力を入れ取り組んでおります。日頃のこういった地道な取り組みの成果もあって、子どもたちは毎日集中して勉強に取り組めるようになってきました。

2学期にも運動会や学習発表会など様々な行事を予定しており、学園や分校をご覧いただける機会もあるかと思えます。ご多用の折とは存じますが、是非ともお越しいただき、子どもの様子や一生懸命に取り組む姿をご覧いただければと思います。

1学期には、多くの方々から様々なご支援をいただき誠にありがとうございました。私たち教職員一同は、子どもたちが将来自立した大人へ成長していけるよう全力で教育活動を進めてまいります。今後とも弘済小中学校分校・阿武山学園にご理解とご協力をお願いいたします。

プール学習



アングーマネジメント学習



夢授業

六月二十三日、キャリア教育の一環として、二時間目〜四時間目で夢授業を行いました。

昨年に引き続きプロラグビー選手の木村貴大さん・原山光正さん、また本年度新たに元プロバレーボール選手の大久保涼子さんに来て頂きました。

本年度は、昨年の「心の声を変える」を引き継いで「捉え方を変える」ことを中心にお話をさせていただきました。普段は絶対に人に言わないという自分の弱みや失敗談を惜しげもなくさらけ出してくださる姿に、子ども達は夢中になって聞き入っていました。講話を聞いた後は、体育館に移動してトップアスリートとともに実際にラグビーやバレーを体験しました。

夢授業を通して、自分に対して前向きになれるきっかけ、まさに夢と希望を与えていただきました。教えていただいたポジティブな捉え方を、子どもたちにはこれからの生活でももっと意識をしていって欲しいと思います。子どもたちの感想を紹介します。「捉え方で今と未来が変わる」「過去は変えられないけれど未来と今はプラスの捉え方で変わるということを学べた。プラスの捉え方を生活に活かして明るく楽しい日々を送れるように頑張る。」選手の皆様、貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。

米田敬さん

講話中の様子



大久保涼子さん・原山光正さん・木村貴大さん

職業講話

六月二十五日は、俳優兼パーソナルトレーナーの米田敬さんをお招きし、「自分の考えを持つ」というテーマでお話いただきました。米田さんは、俳優として多くのドラマや映画に出演する傍ら、映像制作やパーソナルトレーナーとしても活躍されています。講話の中で、子どもたちはグループワークを通じて活発な意見交換を行い、大変有意義な時間を過ごしました。

米田さんは、俳優という仕事で「生み出す仕事」であると強調されました。例えば、生徒の役を演じる際には、様々な生徒を想定し、その中からどのようなキャラクターを選んで演じるかがいかに難しいか、また、俳優として選ばれ続けるための努力と苦労についても語っていただきました。

グループ活動では、「夢ってなんだろう」「あなたの夢はなんですか」というテーマで話し合いが行われました。子どもたちは自分達の「夢」について意見を交わし、米田さんは渡辺直美さん（お笑い芸人兼インフルエンサー）と井上貴博さん（アナウンサー）を例に挙げ、夢の実現についてのお話をされました。渡辺直美さんは、早くから夢を持ち、その夢に向かって活動し、見事に夢を叶えました。井上貴博さんは就職活動の際にアナウンサーを目指すようになりました。このことから、夢は人それぞれであり、どのような形でもよいというメッセージが伝えられました。米田さんご自身も子供の頃にラーメン屋やタクシー運転手、プロ野球選手など様々な夢を持っていたそうです。現在では俳優としてやりたいこと（夢）を見つけ、それに向かって活動されています。「夢はあってもなくてもよいが、夢がある方が楽しいし、頑張れる」と米田さんは語っていました。

質問コーナーでは、好きな食べ物から俳優業界のお話まで様々な質問にお答えいただきました。また、「本番で緊張しますか。また、緊張しないためにはどうすればよいですか」という質問に対し、米田さんは「こうやらない」と考えるから緊張するのであって、「むしろ」とポジティブに考え、楽しむことが大切だとアドバイスをいただきました。

今回の職業講話を通じて、夢について深く考える貴重な機会を得ました。米田さんが一番伝えなかったことは「自分の考えを持つ」ということでした。子ども達が自分で考えることの重要性に気づき、行動することを期待しています。

プール開き

七月一日（月）、待ちに待ったプール開きです。時に小雨がパラつく生憎のお天気でした。しかし、楽しみにしていた子ども達にとっては何のその！雨粒を吹き飛ばす元気な声がプール全体に響いていました。

子ども達を見ていて一番驚いたのは、昨年に比べて泳力が非常に向上していることでした。プールの間には、体育の授業以外に、寮の日課の一部としても水泳があります。泳法を学校で習って終わり：というのではなく、日課の水泳の中でじつくりと実践し振り返るといった日々の小さな積み重ねが、今の彼らを築いているのだなと改めて実感しました。

夏を過ぎるといよいよ体育祭の練習が始まりますが、その時には水泳で培った基礎体力がものをいいます。しんどい時もあると思いますが、努力の積み重ねは必ず自分に返ってきますので、この夏も、楽しむ心を忘れずに水練に励んでほしいと思います。

阿武山公式キャラクター
みーちゃん

大阪市立弘済小中学校分校



引き続き、本校の教育活動にご協力をよろしくお願いいたします。

所在地 〒569-1041 高槻市奈佐原 956
電話 (072)693-5790 FAX (072)693-5792

